

Elastilon[®] 施工方法



1
床下地にポリエチレン防湿シートを、重ねしろ200～250mm をとりながら敷いてゆきます。
(コンクリート等下地の含水率が高い(3.9%以上)場合は、エラストロンを敷く前に必ず防湿シートを敷いて下さい。)



2
エラストロンのロールをポリエチレン防湿シートの上に広げます。



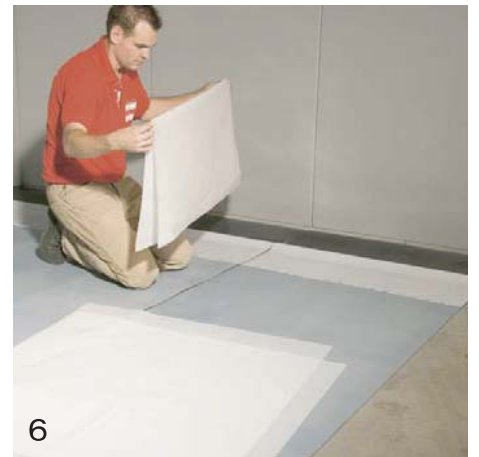
3
広げたエラストロンを裏返しにし、保護フィルムの貼られた側を上に向けてみます。



4
同様の手順で床全体にエラストロンを隙間なく敷き詰めてゆきます。
(エラストロンは重ねてはいけません。)



5
エラストロンの粘着面についている保護フィルムを、床板1～2枚分の幅だけ剥がし、折り返しておきます。
(粘着面が現れます。)

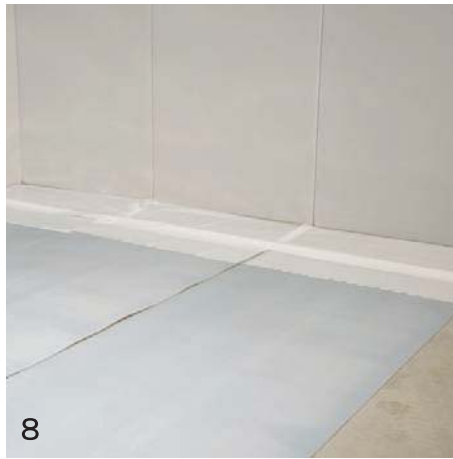


6
予備の保護フィルム(※)を2つ折りにしておきます。

(※)初めてエラストロンを使用する場合はまだ予備の保護フィルムが用意できていないので、代わりにエラストロンを床板1枚の幅+100mm程度余分に、壁際に立ち上げるように敷きます。その余分な部分の保護フィルムを剥がし、粘着面の現れたエラストロン本体部分のみカットします。これで残された保護フィルムの部分が“引きしろ”として使えるようになります。



7
2つ折りにした予備の保護フィルムを折った側が壁側に向くよう、慎重に粘着面に置きます。



8
予備の保護フィルムを写真のように配置します。



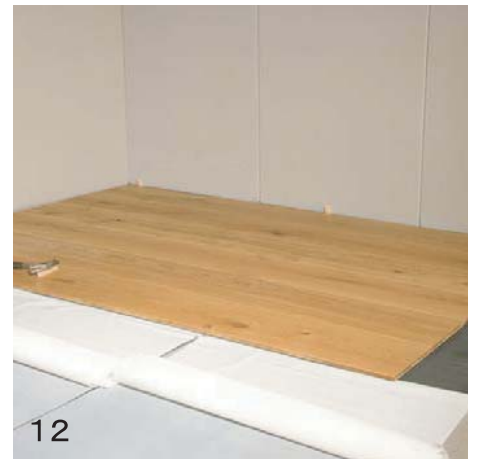
9
最初の列の床板を保護フィルムの上に配置します。



10
無垢などの膨張・収縮が激しい床材の場合は、壁と床板の間にスペーサー(できれば18mm以上、最低でも10mm)をかませます。



11
2列目の床板を1列目の床板にしっかり密着するよう叩き込みます。続いて、エラストロンと床板の間にある予備の保護フィルムを取り除きます。ここからは実際エラストロンに貼られている保護フィルムを剥がしながら作業してゆきます。



12
この先は、床板数列分を続けて配置してから保護フィルムを剥がす、という作業を繰り返します。



13
床板の施工が終わった直後から、床を使用することができます。

注意：エンドマッチ部分のみ、PVA接着剤を用いて軽く(1、2滴)接着しておくことをおすすめします。



株式会社ナガイ

URL <http://www.nagai.co.jp/>

E-mail kenzai@nagai.co.jp

問合せ先: TEL 0265-28-1221